

職：それでは、もう少し質問させて下さい。

寺多家は、10年以上前から、紋白町に住んでいますか？

先祖代々や！

寺多さんも、もちろん、10年以上住んでいますよね。

当たり前やろ！

建てられるのは、娘さんですが、土地は将来どうされますか？

そら、可愛い娘に相続させるわ！
さらに、将来は「ゆきじ」やな！

土地は、寺多さんの家の近くですよな。

田んぼ挟んで隣や！

娘さん家族が住むための家ですよな。

他に何を建てるねん。



職：次は、建築物や敷地についてです。

寺：ちょっと待って。条件多すぎやろ？

職：まだ他にも、建築物の敷地、形態等の基準があり、例えば、建築物の高さが10m以下であることとか…

寺：わかった。わかった。それは、基準のとおりする。今、これ以上聞くとパンクや！
で、建てられるとっていいんやな。

職：そうですね。建築物、敷地等に関する基準を満足してもらえることを前提にすると、建てられると思います。

寺：そうかあ！それは良かった。ほな、今すぐでも帰って娘に伝えてこな！

寺：ただいまぁ♪

杉：げっ。あっ、早かったんすね。

寺：なんじゃ、お前だけか？

杉：みんな買い物に行ってますよ。

寺：なにい〜。

杉：で、どうやったんですか？家の件は？

寺：さぁ、お母さん帰ってくるまで、ビールでも飲むかな！

杉：えっ？で、家は建つんですか？

寺：ああ、充実した仕事の後は、ビールがうまい！ほれっ。

杉：はい??

寺：んっ、ほれ、んっ。

杉：えっ？ああ！ありがとうございます。

寺：・・・・・・。

まだ、妻と付き合っていた頃、家まで送っていったとき、玄関先で待っていた義父は、上半身裸で金属バットで素振りをしていた。私を見ても、怒鳴るわけでもなく、ただ黙って素振りを続けていた。

あの時感じたなんとも言えない空気を、未だ維持している義父と、今後住むことになるのかどうか。こればかりは、妻のみぞ知るだ。



必ずお読みください。

※市街化調整区域における建築は、同じ目的であっても、隣同士の土地であっても、その土地によっては建築可能であったり、逆に建てられない場合もあります。この物語では、基本的な流れをわかりやすく説明することを目的としているため、また、実際には、他の法令やその土地の状況、過去の経緯等、様々なことを確認する必要があるため、全てのことを記載しているわけではありません。以上のことから、具体的な建築予定等がある場合は、大津市都市計画部へ相談に来て頂くようお願いします。

時は流れて1年後。
杉木さんは、同居しているのか。
ドタバタ劇はまだ続くのか？

次回、STORY 03 北側斜線制限の光明
乞うご期待♪

